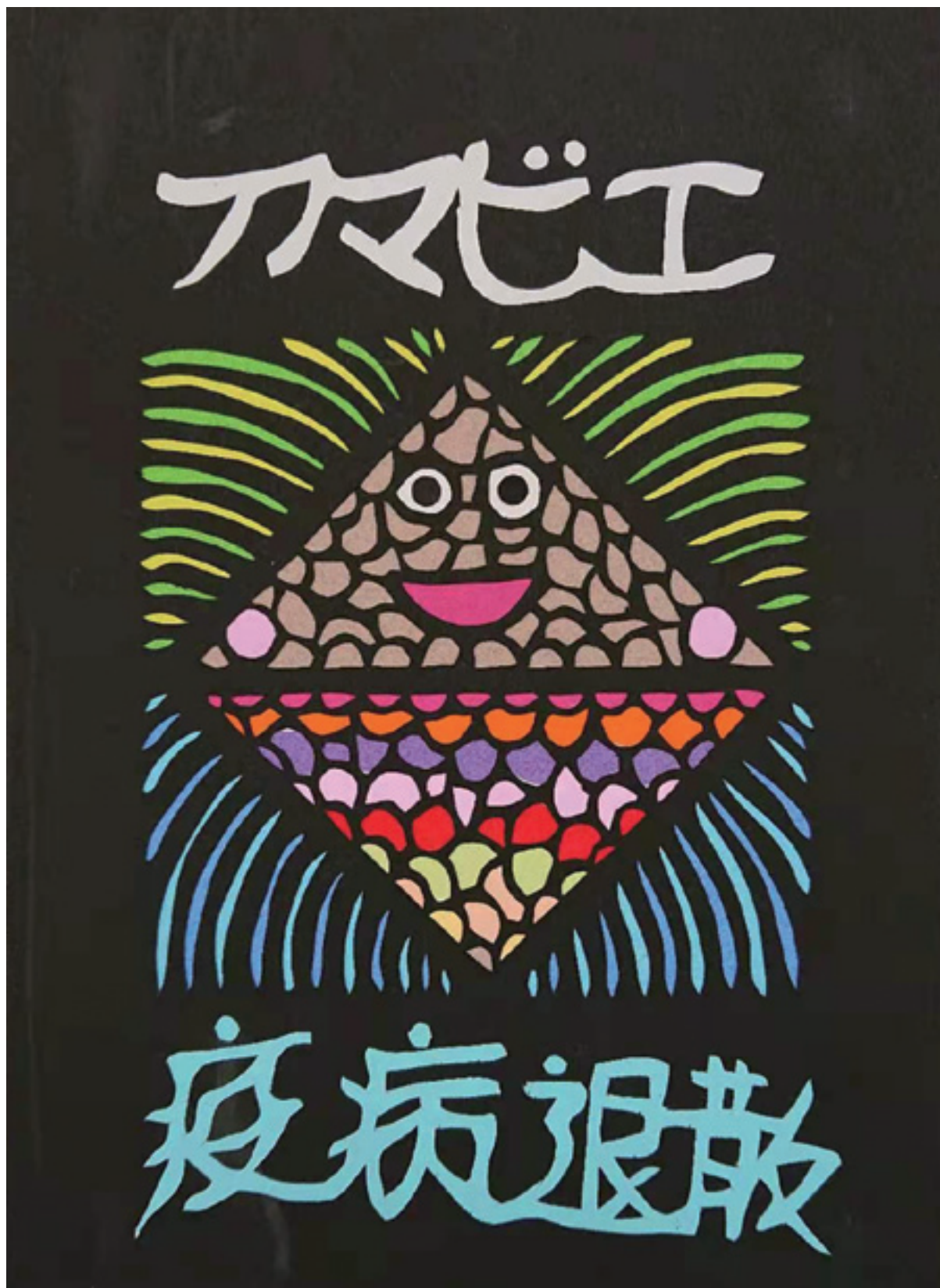


悠久

本号の内容

- | | | | |
|----------------------------|-------------------------------|-----|------|
| ①「県立高校の国際交流について」 | 岡山県教育庁高校教育課 | 参事室 | 貴由輝 |
| ②日中青年交流事業
—新たな国際交流に向けて— | 岡山県立林野高等学校 | 校長 | 竹内成長 |
| ③岡山・上海障害児者絵画交流展を
開催しました | 社会福祉法人旭川荘
日中・アジア医療福祉研修センター | 所長 | 小幡篤志 |

第 57 号 March 2021



せとうち旭川荘 岡本 卓也 作

「県立高校の国際交流について」

岡山県教育庁高校教育課

参事室 貴由輝

「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の「グローバル人材育成プログラム」に基づき、海外との交流を進めてきた県立高校にとつて、二〇二〇年は活動が制限される非常に厳しい年になりました。

〈グローバル人材の育成〉

「新晴れの国おかやま生き生きプラン」は、県政における最上位に位置付けられる総合的な計画で、二〇一七年度からの四年間で取り組む重点戦略や施策が盛り込まれています。「教育県岡山の復活」という重点戦略の中には、グローバル人材育成プログラムを設け、子どもたちの英語力の向上と国際的に活躍できる人材の育成を重点施策としています。英語に触れる機会を増やすとともに海外留学を促進し、実践的な語学力やコミュニケーション能力を備えた人材や、社会課題に対する関心と深い教養、問題解決能力等の国際的素養を身に付け、我が国や郷土の伝統・文化を深く理解した、国際的に活躍できる人材を育成するというものです。この施策の指標の

一つに、海外の学校と姉妹校提携を締結している県立高等学校数があります。県教育委員会も、県立高校と海外の学校との協定提携の支援を行っており、二〇一六年度の県内八校、海外校十三校から、現在の県内十九校、海外校二十七校まで増えました。このうち、中国の学校と姉妹校提携を締結している県立高校は二校で、岡山南高校が上海市陸行高級中学と、和気閑谷高校が上海市嘉定区第一中学、山東省曲阜市第一中学の二校と締結しています。



岡山南と上海市陸行中学とのオンライン交流1



岡山南と上海市陸行中学とのオンライン交流2

海外の学校と姉妹校提携を結んだ学校は、定期的に互いに生徒・教員の派遣を行い、継続的な交流を通して、日本と相手国の友好親善を図るとともに、異なる伝統や文化を学ぶことを通して、多角的な視野と柔軟な思考力を身に付けています。

しかし、二〇二〇年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への渡航や外国人の受入れが困難となり、姉妹校との相互交流をはじめ、短期、長期の留学も中止せざるを得なくなりました。それぞれの学校では、派遣や受入れの準備を進めており、交流を通して相手国の理解やコミュニ

ケーシヨン力の向上を図ろうとしていた生徒たちのシヨックは大きかったと思います。

「オンラインによる国際交流」

そのような中、ICT技術を活用し、オンラインで海外の学校等とも繋がり、交流をすることができようになってきました。残念ながら、日本の学校でのICT活用は、諸外国と比較し遅れをとっていると言わざるを得ない状況にあります。GIGAスクール構想の推進と新型コロナウイルス感染症による一斉休業への対応等に



林野高校と上海市奉賢区致远高级中学とのオンライン交流1



林野高校と上海市奉賢区致远高级中学とのオンライン交流2

より、一気にICT活用が進みました。一斉休業中に学びを止めないために、様々な方法で自宅にいる生徒に課題等が届けられるようになり、ICTを活用した学習内容の配信も進みました。オンラインでのビデオ会議システムを活用し、同時双方向の学習も可能になりました。このようなシステムを活用し、海外の学校や関係機関との交流を行うことも可能になりました。

八月一八日（火）に、オンラインによるビデオ会議システムを用いて、岡山南高校と姉妹校の上海市陸行高級中学との交流が行われ

ました。本来であれば、岡山南高校の生徒が三月に陸行中学を訪問して交流を行う予定が延期となっていました。コロナ禍でも国際交流を絶やすまいと実現したオンライン交流では、岡山南高校の邦楽部による琴の演奏や陸行中学の中国音楽の演奏などのほか、生徒同士の対話による交流も行われました。

一〇月二〇日（火）には、岡山県日中教育交流協議会の提案で実現した、林野高校と上海市奉賢区致远高级中学との交流が、オンラインによるビデオ会議システムを用いて行われました。この日は初顔合わせということで、各校の校長、生徒代表、教育行政関係者の挨拶と学校の紹介を行いました。一月四日（水）には、生徒同士の交流も行われ、致远高级中学からは、代表生徒による動画「健康美体操」、スライドショーによる運動会紹介、書道、吟唱、クラシックギター演奏が披露されました。林野高校からは、生徒代表によるスライドショーでの学校紹介、動画による体育祭紹介、吹奏楽部演奏、琴部による演奏を披露しました。互いの学校の素晴らし



林野高校と上海市奉賢区致远高级中学とのオンライン交流3

い紹介に感動し、充実した交流になったそうです。

海外との往来が難しい今、ICT技術を活用した新しい国際交流が広がりつつあります。時間と費用があまりかからないことから、今までよりも多くの生徒が海外の学校と交流することができるようになりました。交流の回数や交流する相手を増やすこともできます。オンラインでの交流を通じて、海外に関心を持つ高校生が増え、コロナ禍終息後には、多くの高校生が、夢や期待に胸をふくらませ、海外に飛び立つていくのを楽しみにしています。

日中青年交流事業

—新たな国際交流に向けて—

岡山県立林野高等学校

校長 竹内 成長

【はじめに】

本校は、岡山県北東部に位置する美作市にあり、中山間地域の小規模普通科高校です。現在、生徒数は三百五十七名で、一昨年、創立百十周年を迎えた歴史ある学校です。進路は国公立大へ約二十名、私立大・専門学校等へ約九十名、就職約十名で、多様な進路希望に沿った丁寧な指導を強みとしています。平成二十九年度入学生から学年進行でChromebookを一人一台導入し本年度で四年目となります。また、国際交流にも力を入れており台湾の國立台南第二高級中学校と台南市立大湾高級中学校の二校と姉妹校を結んでいます。昨年は、六月の三泊四日の修学旅行でこの二校を本校生徒五十四名が訪問し歓迎会や授業参加等で交流しました。また、十二月には第二高級中学の生徒三十八名を本校に迎え、歓迎会や授業参加等の交流とともに、夜は生徒宅へホームステイをしました。しかし、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、相互に訪問する交流は全て中止せざるを得ない状況となりました。

このような状況のなか、岡山県日中教育交流協議会より、オンラインによる国際交流の機会をいただき、二回にわたり上海奉賢区致远高級中学との文化交流を行うことができました、その報告をさせていただきます。

【第二回交流会】

期 日…令和二年十月二十日

十四時～十五時三十分（日本時間）

参加者…日本側七名、中国側七名

司 会…岡山県日中教育交流協議会

事務局長 大川 泰栄

内 容…(一)挨拶

岡山県立林野高等学校長

校長 竹内 成長

上海市奉賢区致远高級中学

校長 張 建権

岡山県教育委員会高校教育課

参事 室 貴由輝

上海市奉賢区教育局 德育活動科

副科長（主持工作）唐 華

岡山県日中教育交流協議会

会長 岡本 啓

上海市人民对外友好協会

調研員 郭 盛麟

(二)情報交換

(三)記念合同写真

第一回は両校の教職員による挨拶を中心としたものでした。初めての顔合わせでしたがオンラインという事で私自身も少し構えていたのですが、致远高級中学 張 建権 校長は大変気さくな方で終始笑顔でお話しされ校長自ら学校紹介をしてくださいました。約千三百名の生徒と百四十名の教員とのことで本校の約三倍の規模で、施設設備等が大変充実していると感じました。通訳の方も言っておられました。現在、文科省が進めているG I G



林野高校関係者の挨拶



林野高校・致远高級中の関係者による
記念合同写真

Aスクール構想などによる一人一台端末等のICT環境等の整備は上海の学校では約十年前には整備されているとのこと、日本のICT活用状況が先進国の中でも最下位であることも分かる気がしました。また、コロナの感染状況については、日本は拡大傾向にあり日々感染者数が増加しているのに対して、上海では、終息してきており、

マスク等の着用もしていないとのことでした。最後に両校がオンライン上で一画面に入り記念合同写真を撮影いたしました。

【第二回交流会】

期 日…令和二年十一月四日

十四時～十五時三十分（日本時間）

参加者…日本側十名、中国側十名

司 会…致遠高級中学生 高 敏傑

内 容…(一)出席者紹介

(二)致遠高中学生代表による学

校紹介

「健康美体操」(ビデオ)

過去の運動会 スライドショー紹介

(三)林野高等学校生徒代表による

学校紹介

体育祭(ビデオ)

(四)書道実演

〔致遠〕

(五)吹奏楽部演奏(ビデオ)

〔林野〕

(六)「酔花陰」「短歌行」吟唱

〔致遠〕

(七)琴演奏(生演奏)

〔林野〕

(八)クラシックギター独奏

(生演奏)〔致遠〕

(九)日中学生交流

〔日中合同〕

第二回は生徒の文化交流を中心としたものでした。両校とも生徒が学校紹介プレゼンを準備し、二～三文で説明

した後、通訳してもらう形式で行いました。致遠高中の学校規模や施設面の充実ぶりには驚かされました。その後、運動会や体育祭のビデオを互いに見ました。致遠高中は生徒数も多くグラウンドは芝生で競技内容等も異なり迫力があるものでした。本校のように土のグラウンドで感染対策を意識しリレーを中心とした競技内容とは大きく異なるものでした。その後、致遠高中からは、書道の実演、吟唱、クラシックギター独奏を、本校からは吹奏楽部の演奏、琴の演奏を披露しました。最後に、両校の生徒による情報交換をしました。話題は、コロナの感染状況やコロナ禍における学校生活の話が中心となりました。



林野高校生による琴演奏



致遠高級中生による書道の実演

【おわりに】

今回の交流を通して感じたことをお話しします。実際の訪問に替わる代替措置としてのオンラインによる交流と捉えてしまいがちですが、今回のオンライン交流により、今後の方向性として、オンラインと実際の訪問とを組み合わせたハイブリッド型の交流がよいのではないかと思います。訪問前後にオンラインによる交流を取り入れることで、点ではなく線となった、より深い関係が構築できるのではないかと思います。また、訪問前に相手校の学校の様子を把握しておくことは精神的な面で大きな安心材料となります。

二つめに、今回の交流では機材の準備、両校の調整、通訳等を岡山県日中

教育交流協議会事務局の方々に御準備いただきました。学校は、交流内容に特化して準備することができ大変助かりました。このような形式であれば、ある程度どの学校でもオンラインによる交流が実施できるのではないかと思います。

今後もしばらく海外への渡航制限は入ると予想されます。このような状況だからこそ、オンラインによる交流を取り入れ、これまで築いた関係を継続していくことが大切だと考えています。今回、このような機会をいただいたことは本校としても新しい交流の一つの方法を発見することができました。今回お世話になりました岡山県日中教育交流協議会岡本会長をはじめ関係の皆様方に深く感謝申し上げます。



林野高校生と致遠高級中生による情報交換

岡山・上海障害児者 絵画交流展を開催しました

社会福祉法人旭川荘
日中・アジア医療福祉研修センター

所長 小幡 篤志

一. 開催の概要

岡山・上海障害児者絵画交流展「きらめきは海を越えて二〇二〇」が昨年十一月二十四日から二十九日までの六日間、岡山県天神山文化プラザで開催されました。

この絵画展は、岡山・上海双方における障害者への理解の促進と海を越えた友好交流を目指して、一昨年十二月に上海市で開催された「きらめきは海を越えて」に続き、東京オリンピック・パラリンピックの開催予定であった二〇二〇年に合わせて岡山県で開催されたものです。一昨年と同様、旭川荘と岡山障害者文化芸術協会、上海市人民対外友好協会が共同で主催。外務省、厚生労働省、中国駐大阪総領事館、岡山県・市、岡山県・市日中友好協会、岡山県日中教育交流協議会などから後援をいただきました。

二. 開催の経緯

旭川荘は一九八五年から上海市と福祉分野での交流を始めてお

り、障害福祉分野では浦东新区の補読学校（日本の特別支援学校に相当）などと交流を深めてきましたが、絵画を通じた交流は昨年の絵画展が初めてとなります。この絵画展は、上海市の代表団の一員として二〇一七年二月、中国近代を代表する芸術家である呉昌碩の曾孫で上海呉昌碩記念館執行館長の呉越氏が旭川荘を訪れた際、「障害児者の絵画展を開催しよう」との話題が出たことがきっかけとなっています。その後、旭川荘の職員が上海の特別支援学校などを訪問し、呉越氏や学校関係者らと協議を重ねて開催に至りました。

三. 展示内容

今回、岡山からは県の公募展「きらめし★アート展」の過去の入選作二十五点、旭川荘アートギャラリーから十五点の計四十点を出品。上海からは、浦東新区補読学校と、同じく特別支援学校の普陀区啓星学校から十五点ずつ、そして上海市の補助事業として自閉症児のサロンを運営している上

海天使知音サロンから十点の計四十点、あわせて八十点の絵画が展示されました。

また、祖父・曾祖父の時代から交流があり、昨年の絵画展にも参加した呉越館長と陶芸家の児島塊太郎先生の作品も特別展示されたほか、「コロナに負けない」をテーマに旭川荘の職員と利用者が絵付けした三百五十二体の招き猫も会場を彩りました。

四. オンライン開会式

会期の初日には開会式が行われ



開会式のテープカット



会場の天神山文化プラザ

ました。岡山県側からは児島先生のほか、行政や知的障害者福祉協会、県・市日中友好協会、県日中教育交流協議会などから約三十人が参加。上海側からはコロナ禍のためオンラインでの参加となり、呉越館長、人民対外友好協会の景莹副会長、絵画を出展した学校等の先生や生徒たち、さらには中国駐大阪総領事館の張玉萍副総領事が大型モニターに登場しました。

旭川荘の末光茂理事長は「絵画は海を越えて、コロナを乗り越え

てメッセージを伝え合うことができます」とあいさつ。景副会長も「私たちは違う国にいますが、心は一緒にいます。疫病は友情を断ち切ることはできません」と友情を確かめました。張副総領事も同様に、この絵画展の意義を強調しました。

五. メッセージ交換

岡山会場ではテープカットが行われ、一昨年に続き、せとうち旭川荘の岡本卓也さんが障害者代表として参加。岡本さんは上海へのメッセージとして、昨年の会場である呉昌碩記念館をモチーフにした切り絵を披露して交流の喜びを表現したほか、疫病退散の願いを込めた「アマビエ」の切り絵も参加者にプレゼントしました。(表紙)

その後、岡山側、上海側それぞれの参加団体からの動画が紹介され、楽器の演奏や「がんばれ日本」「上海加油(上海がんばれ)」「絵画展で交流できてうれしい」などのメッセージが披露されました。岡山側からは、旭川学園や旭



切り絵を披露する岡本さん

川療育園の児童等が参加する「旭川荘ミュージックアカデミー」の演奏のほか、「きらぼし★アート展」に出展したもぞの学園、灯心会の利用者のメッセージが寄せられました。また上海側からは、浦东新区補読学校や普陀区啓星学校の美術やダンス活動などの紹介と子どもたちのメッセージ、天使知音サロンの子どもたちと上海城市交響楽団とのコラボ演奏の動画が披露され、会場を盛り上げました。

最後に八十点の展示作品を紹介するスライドショーが上映されました。一点一点の絵画に作者たちの様々な思いが込められており、また色遣いやテーマ設定、絵画の



オンラインで生徒らと交流

制作方法に日中の文化の違いを感じ取ることができました。

絵画展には会期中、三百十八人の観客が訪れました。また、コロナ禍で来場できなかった人のために、展示の様子を撮影した動画をホームページで公開することとしています。

来年度以降の交流内容は未定ですが、旭川荘では、今後もこのような障害児者の文化芸術面での交流を推進していきたいと考えています。

六. 開催結果と今後の展望



岡山商科大学孔子学院



中国語講座

入門・初級・中級・上級
計18回
※途中からの受講可能



子供向けコース

親子での受講也大歓迎
毎週土曜日
計15回



ラジオ講座好評放送中!

■RSK ラジオ講座「朝耳ラジオ」生放送
毎週金曜日 8:30頃
■レディオモモ「ラジオでニイハオ」
毎月第1・3水曜日 10:40～



出張中国語講座

簡単な日常会話から本格ビジネス中国語まで
対応します。内容は相談に応じて調整いたします。



出張中国文化講座 (開講料無料)

岡山県内の小学校、中学校、高校及び公民館を
対象とした出前中国文化講座を開講いたします。

お問い合わせ／お申し込み 岡山商科大学孔子学院 〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1
TEL 086-256-6670 (直通) FAX 086-255-6947 <http://www.osu.ac.jp/koushi/>



学校法人 中国学園

中国学園大学

- 現代生活学部人間栄養学科 ●子ども学部子ども学科 ●国際教養学部国際教養学科
- 大学院(現代生活学研究科 子ども学研究科)

中国短期大学

- 総合生活学科 ●保育学科 ●情報ビジネス学科

〒701-0197 岡山市北区庭瀬83番地 TEL086-293-1100 FAX086-293-3993
<https://www.cjc.ac.jp/> E-mail t-bosyu@cjc.ac.jp

学校法人 加計学園

岡山理科大学附属高等学校

国際バカロレア ワールドスクール認定校

【普通科】

- ・グローバルサイエンスコース
- ・総合進学コース
- ・国際バカロレアコース
- ・スポーツサイエンスコース

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
TEL 086-256-8527 FAX 086-256-8526
URL <http://okayama.ridaifu.net/>
フリーダイヤル ☎ 0120-209817

bene(よく)+ esse(生きる)
Benesse=「よく生きる」



株式会社 ベネッセホールディングス
〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17
<https://www.benesse-hd.co.jp/>

岡山県日中教育交流協議会 会報『悠久』第57号

発行：令和3年3月／発行者：岡山県日中教育交流協議会 編集委員会
〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階 TEL (086) 225-5083 / FAX (086) 225-5041